

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	F I C 森に親しむ野外講座（県外）		
タイトル	富士山の五合目の秘境 奥庭と御中道めぐり		
実施日時	2019年 9月 10日（火） 7時 ~ 19時		
実施場所	富士山吉田口五合目 奥庭と御中道（山梨県）		
受講者	28名	F I C 会員	8名

### 活動の内容

前日の台風 15 号の影響で、外房線、成田線が不通となり、当日キャンセルの方が、9 名となり、参加者 28 名＋スタッフ 8 名の総勢 36 名で出発した。

台風一過で天気は良好。途中、富士山が見え隠れする。徐々に高度を増す富士山の植物の垂直分布を確認しながら、先ずは 4 合五尺に位置する奥庭に到着。シラビソ、コメツガの自然林を下りながらヤマハハコ、ミヤマアキノキリンソウ、コケモモ、ムラサキモメンツルなどを観察する。昔、天狗があまりに景色が良いので遊んだ庭といわれる奥庭からの眺望は富士山の雄姿が見られ、素晴らしい景色を堪能できた。昼食場所の奥庭荘では美味しいキノコ汁を全員におふるまい、奥庭荘ならではのサービスに喜んで頂いた。

午後はバスにて五合目まで進み、小御嶽神社でお参りしてから御中道を歩く。7 月～8 月に最盛期となるハクサンシャクナゲが出迎えてくれる。残念ながら花はすでに落ちていたが、数輪はきれいな姿を見せてくれた。

この周辺は森林限界であるが、シラビソ、コメツガ、ダケカンバが植生し、スラッシュ雪崩などの影響でこれらの植物が矮小化したり、下降方面に曲がりくねったりで、自然の力に逆らいながらも生きる力を見せてくれる。途中からカラマツ林が続く。

イタドリ、メイゲツソウ、オンタデが列を為して植生しているが、その見分け方を解説。雌雄異株で同じような形であるので、中々難しいが葉の基部の形で見分けるのが一番である。

ミヤマハンノキ、ミネヤナギなど荒れ地に強く、火山高原に適應する植物の林床ではミヤマオトコヨモギ、ヤハズヒゴタイ、ベニバナイチャクソウ、マイヅルソウなどが観察できた。

パイオニア植物のオンタデが 7 合目、8 合目までパッチ状に上に上にと伸びている姿に植物の自然の力に感心する。全員無事に奥庭に戻り、しばし夏の終わりの富士山を楽しんで頂いた。



上段：コケモモ、メイゲツソウ雌花  
下段：ハクサンシャクナゲ